

# 問答連

その廿三

# 瓦版

## 哲学カフェ 第六回（最終回）

一〇月二七日（土）二時

会場：雑貨と喫茶「ムーレック」（下段参照）

特別企画

## あなたが作る「哲学カフェ」



お知らせしていますように、第6回は特別企画として「あなたが作る「哲学カフェ」」を行います。ここでは、参加者の皆さんの興味・関心から当日テーマを設定して対話していきたいと思えます。

いきなり「興味・関心といわれても！」と難しく考えていただく必要はありません。例えば、\*退屈なときは時間が長いけど、楽しいときは短い \*赤ちゃん  
のときの記憶があるという人がいましたが、本当かな  
\*雑草という名前の草は無いって言われますが、雑草

は雑草ですよね \*夢を見ることがありますが、目覚めていながら夢を見ることがあるのかな \*めていながら夢を見ることがあるのかな \*ヒーローは正義を実現するというけれど、本当？などなど。日常的な疑問が「哲学」のテーマになります。

皆さんのお考えを持ち寄っていただければ幸いです。もちろん、参加して頂いてから考えてもらっても結構です。

世話人としては密かに「来年のテーマ(?)」を考えるヒントを皆さんからいただければとも考えています。



第五回哲学カフェ 榎崎さん（中央）のお話を聞く皆さん

今期の「哲学カフェ 問答連」は、第六回をもって終了します。五月からの長いおつきあいありがとうございます。皆さんのおかげで楽しくもあり、厳しくもあつた「対話」が つむぎ出せたことを嬉しく思っています。

来年度の計画については、まだ世話人の間でどうするかを話し合っていますので、今の所「未定」です。ご意見やご要望がありましたらご遠慮なくメールでお申し付けください。ホームページ（欄外に表示）から、メールアドレスを確認してください。



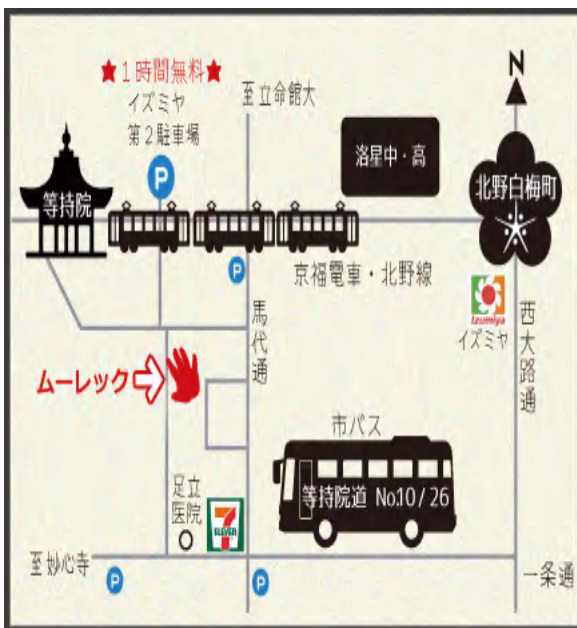
### ＜交通について＞

JR京都駅から 市バス(26)『等持院道』下車

市バス(206)『北野白梅町』下車

京阪三条駅から

市バス⑩『等持院道』下車 市バス⑯『北野白梅町』下車



## 第五回報告

今回の、ゲストスピーカー榎崎先生のお話は、気功の本質にはじまって、具体的な治療法や実技、守護霊の話にまで至る、壮大な楽しいお話でした。

気功自体に興味を持つ人が多く、気功の本質や方法に関する質問がたくさんでたほか、再現性や検証を重んじる科学的な考え方と科学を超える世界の関係をどう考えるのかという点について、いろいろな意見がでました。自我へのとらわれから自由になることについては、多くの人が共感しながらも、その方法については、非合理なものに対する不安や警戒感もあり、迷いを感じている人が多かったことが印象的でした。それぞれ、瞑想、マインドフルネスなどへの関心、宗教的なことからへの関心などがあっても、これらの領域の問題を、共通の言葉や枠組みで語り合って深めることは、まだまだこれからの課題だとも思いました。話し合いのあとは、健康相談などもあり、「ふしぎな世界」の一端を楽しく感じさせていただいたひとときだったと思います。(N)

### 【参加者のみなさんからの感想】

○座禅 無(心)になる(す) 石・木・花など、いろいろな物体になる(す)ことも、思っている(心)では(な)らない、と言っている(心)を言っている(心)ではない、と...してはいけません ↓ 無限大 (福祿寿)  
○ありがとうございます。いろいろな感じることがありました。

○本日はありがとうございます。哲学カフェとはどういうものか、知りたかったので参加しました。気功のことも興味がありました。

○「気功」と「心」と「身体」私の関心事です。どうもありがとうございます。次回も出席したく思っています。

○今日のお話を全部信じます。ただ自分には、なかなか感じられないもどかしさがあります。とてもよかったです。

○哲学カフェという論理を交し合う空間で気功という神秘的なものがテーマになるというギャップがおもしろくて参加しました。単なる健康法を超えて、さまざまな事に活用できる点が、想像以上に面白かったです。気功は、対人関係、コミュニケーションにも活用できるのでは?と思いました。赤ちゃんになるのが良いというお話もありましたが、私自身は社会性もまた大切だと思っています。不思議な事が大好きな人達の集まりはやはり危うさがあるような気がしますし、世の中や周りの人たちのことにもきっちり意識をむけることも大切だと思います。

場の流れをしっかりと整理されている、永井さんのようなバランス感覚は不可欠だと思います。私自身は、いろいろな人たちが楽しく交流できる社会をつくりたいと思っています。(めぐり堂書店)から

○今日は、ありがとうございます。まず、榎崎さんという方が、とても面白い方でお話がとても楽しかったです。人間↓邪悪 邪悪(人間)から離れたもの↓木・石・宇宙・赤ちゃん という区分けの仕方、人間以外の生命のありようや宇宙があるというのを、

広く実感していらっしやるところが、なんだか、物理をしていらっしやったルーツと重なるような気がして興味深かったです。私も人間という領域から意識が出た方が心地よいというか自身の内の調和が増すような体感を持つ方なので、やはり日常の中でそういう時間を増やしていこうと思えました。

私の頭の調子を見ていただいた時、気??何かがいっぱい、体に入ってきたと言っか、浴びせられていた実感がありました。わはははははは!!

祝詞をとえられた時、いかにも確かな男性的なエネルギーでしたが(榎崎さんは男性なので当たり前ですが(笑))祝詞にたっぷりエネルギーが乗っていて??(言葉遣いがあるているのか、よくわかりませんが)なるほどなくこうなったら、お酒の味が変質するのがあるかと感心しました。とても楽しい時間をありがとうございました。

○戦後民主主義教育を受けてきて、「科学」の重要性、「科学すること」の民主性を信じてきました。身体よりも理性の優位を疑うことをしませんでした。身体は非合理の世界だと考えてきました。民謡を含む民俗は全て天皇制につながる非合理だと思ってきました。しかし、その「理性」が実は怪しげなものである(西欧キリスト教世界にのみ通用する「理性」であることを最近気が付かれています。そうすると、「気」について、現時点ではつかみ得ない、ものを自分の中でどう受け止めるのかという大きな問題にぶつかります。

○お酒に「気」を送ると味がまるやかになるという話。同席した新聞記者の人が「納得」したそうです。するとあの悪名高い(?)『水からの伝言』は本当なのだろうか。やはり、追試ができないと信じられない。